

対象年度		令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		食育推進事業						予算事業名		学校給食センター運営管理経費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	食育基本法							
				10	06	03	0501	経常経費	根拠法令							
総合計画体系		4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文							事業の区分		主要事業					
		4-1生きる力を育む教育環境づくり (学校教育)														
		①教育内容の充実							担当課係等		給食センター					
9学校給食をいかした食育の推進							栄養指導									
事業期間		継続 (平成29年度～ 年度)														
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
学年に応じた指導により, 食に関する理解を深め, 望ましい食習慣を身につける。親子給食作り体験を通し, 給食への理解を深める。地産地消を生かしたバイキング給食を通し, 地域の産業への理解を深め, バランスのとれた食事の選択や楽しく会食することの意義を学ぶ。								平成17年度の食育基本法制定, 栄養教諭の登用等, 国県の施策に基づき地方自治体として学校給食を通した食育事業の普及促進に努める。								
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】								
・栄養教諭による食に関する指導 ・「給食センターしらべ隊」での親子給食作り体験実施 ・小学6年生対象のバイキング給食の実施								市内の小中学校児童生徒・保護者及び教職員								
								【事業をとりまく環境の変化】 健康な生活を支えるための基本となる食育の重要性は高まっており, 児童・生徒及び家庭での食に関する状況を改善し, 特に子どものころからの習慣による食生活の改善は重要課題となっており, 継続して取り組んでいくべき課題である。								
【令和 2年度 事業内容】				【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】								
イベント開催 (給食センターしらべ隊) 食に関する指導実施 小学6年生対象のバイキング給食の実施				イベント開催 (給食センターしらべ隊) 食に関する指導実施 小学6年生対象のバイキング給食の実施				イベント開催 (給食センターしらべ隊) 食に関する指導実施 小学6年生対象のバイキング給食の実施								

■事業費

		H30年度		R01年度				
財源内訳	国庫支出金	0		0				
	県支出金	0		0				
	地方債	0		0				
	その他	37		40				
	一般財源	163		160				
歳入計 (千円)		200		200				
歳出内訳	節 (番号 + 名称)		金額 (千円)		金額 (千円)			
	11 需用費		200		200			
歳出計 (千円) (A)		200		200				
伸び率 (%)				0.00				
備考	総合計画 114 ページ 予算書 186 ページ							

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	イベント開催回数	回	目標	1.00	1.00	1.00
	給食センターしらべ隊		実績	1.00	0.00	0.00
	食に関する指導の実施	回	目標	108.00	108.00	108.00
	栄養指導教諭による学校訪問		実績	115.00	0.00	0.00
成果 指標	イベント参加人数	人	目標	40.00	40.00	40.00
	給食センターしらべ隊		実績	46.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	必要性は高くなっている。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	学校給食を通じた食育の推進は、栄養教諭や給食センターの栄養士が主体となっている。
	手段の妥当性	A 妥当である	学年に応じた指導を実施している。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	イベント開催時の材料費は参加者の実費負担としている。 栄養指導に関しては、市内小中学校を計画的に巡回し効率よく実施している。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	食に関する指導は、市内小中学校全クラスを訪問している。 イベントに関する告知は、お知らせ版、ホームページで行っている。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	おおむね水準には達している。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	実施計画どおりに進行している。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
- 給食センターしらべ隊は、例年人気のイベントになっており、募集人員以上の応募があり、アンケート結果もおおむね好評である。 - 食に関する指導においては、栄養教諭による学校訪問により、学校や学年に応じた細やかな指導を行っている。 - 児童生徒の食を通じた健康増進のためには、学校・家庭・福祉分野などとの連携、推進が課題となってくる。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
- イベント実施時には募集人員以上の応募があり、受け入れ態勢の検討が必要である。 - 児童生徒の望ましい食習慣、食生活を身につけるためには、家庭での実践が不可欠であり、保護者の理解も必要になってくるため、家庭への働き掛けも必要である。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））
☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 食に関する指導を継続実施するとともに、学校と連携し、給食残量の削減に努めていく。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））
☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。